

編集後記

アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル (AJJ) 第 17 号は、実践報告 2 編、調査報告 2 編、短信 4 編の計 8 編の掲載となりました。今号は短信の投稿が多く、日頃の教育実践に関する萌芽的なアイデアや速報性の高い情報を、広く会員の皆様に発信いただく媒体としても活用いただいていることをうれしく思います。

第 17 号では 8 編中 5 編が、地域と日本語教育とのつながりに関わる論考であったことが特徴的です。地域との連携による多様な科目開講やイベント開催についての情報発信にとどまらず、地域日本語教育を通してめざされる社会像と、その中での日本語教師の役割について考える枠組みが提案されている論考もあり、この 5 編を合わせて読むことで、多文化共生社会の実現に向けた地域連携の重要性と日本語教育の可能性をより深く考えることができます。

また、もう一つの特徴は学習者の不安や意欲、動機づけに注目した実践についての報告が集まった点です。外国にルーツをもつ大学生のための日本語学習支援や、JFL 環境における日本語学習者が意欲的に活動に取り組むためのディクトグロスのテキスト選定、学習者にとっての文語文学習の困難や学習方法の共有など、いずれも興味深い投稿が集まりました。

読み応えのある 17 号をぜひ楽しみながら読んでいただき、さまざまな議論が生まれますことを期待しております。

(編集委員 M.K. 記)

刊行：2025 年 8 月

編集委員 * (** は委員長) ・アドバイザー五十音順

- * 石澤徹 (東京外国語大学) ・ * 牛窪隆太 (東洋大学) ・ 大島弥生 (立命館大学) ・
- * 小笠恵美子 (昭和音楽大学) ・ * 数野恵理 (成蹊大学) ・ * * 小森万里 (大阪大学) ・
- 高橋薫 (創価大学) ・ * 田中信之 (富山大学) ・ * 寅丸真澄 (早稲田大学) ・
- * 藤田裕一郎 (朝日大学) ・ * 松本明香 (東京立正短期大学) ・
- * 宮崎七湖 (新潟県立大学) ・ 吉田美登利 (東京科学大学)